

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	一般教養B2	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	畑 雅代		実務経験の有無・職種	なし	
学習目的					
特に放送業界報道業務、あるいはドキュメンタリー制作バラエティ制作においては海外での撮影の機会が発生しうる。最低限英語でのコミュニケーションが取れることは非常に有益であり、日常的な会話にとどまらず専門的な（映像では常識的な）会話を習得することを目的とする。					
到達目標					
日常会話検定の合格を目標とする。撮影時のやり取りなどに特化したテキスト、試験の実施。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、文法ではなく、単語の羅列であっても会話を前提としたトレーニングを行う。				
注意点	教員は、学生の勇気をもって発言した内容を否定しない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	資格試験の実施		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	資格と授業の説明		日常的な会話力を身につけることを目的とすることを理解する		
2回	あいさつ 日常的な会話		オーソドックスな中でのバリエーションや端折り方を学ぶ		
3回	静止画、動画の撮影許諾		人物の肖像の許諾、場所の許諾、映り込みの許諾、撮影のお邪魔などなど		
4回	撮影現場でのやり取り ①		専門的な言葉、言い回し、流儀を学ぶ		
5回	撮影現場でのやり取り ②		カメラ、照明、音声における専門的な言葉などを学ぶ		
6回	撮影現場でのやり取り ③		俳優とのコミュニケーションを学ぶ		
7回	休憩など食事シーン		様々な食事の場面を想定し、言い回しを学ぶ		
8回	編集現場でのやり取り ①		特に使用する機材の名称などを学ぶ		
9回	編集現場でのやり取り ②		作業における定型句含めた言葉の定型表現を学ぶ		
10回	編集現場でのやり取り ③		作業における定型句含めた言葉の定型表現をさらに学ぶ		
11回	日常的な屋外でのやり取り①		買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ①		
12回	日常的な屋外でのやり取り②		買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ②		
13回	日常的な屋外でのやり取り③		買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ③		
14回	日常的な屋外でのやり取り④		買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ④		
15回	まとめ・総括		ここまでの内容の確認を行う		